

十勝千年の森

千年続くように育てられた森

十勝千年の森は、ガーデンとは何か、どうあり得るのか、を考えるよう我々に突きつけているガーデニングに対するナチュラリスティックアプローチの例です。ここのコンセプトは千年続く自然の森の環境を作成することで、それは著名なガーデンデザイナーのダン・ピアソンのビジョンです。これは大きなガーデニングコミュニティに、自然を征服や管理するのではなく育てる方法のモデルを提供しています。

十勝千年の森は 400 ヘクタールに広がり、農地、牧草地、起伏する丘、そして森林などのいくつかの生態系を含んでいます。広がり全体は一日で歩けません。セグウェイや乗馬でのガイドツアーが、さらに歩き回ることを可能にしています。

ガーデナーたちは熱心に働き、地域の自然地形を反映した野生の雰囲気を保存し、そして土着の植物相や動物相、多様なエコシステムを支えています。各エコシステムは昆虫、鳥、他の動物に食糧と茂みとなっています。

山羊の群れからのミルクで作られるチーズは、日本で賞を受賞しました。チーズ製造のキッチンがあり、訪問者は自分のチーズを作って食べることもできます。ガーデンカフェで出される果物、野菜、ハーブ、食用の花の多くは農場のガーデンのものです。

ガーデンには、「大地の庭」、「野の花の庭」、「森の庭」、「農の庭」、そして「HGS デザイナーズガーデン」が五つあります。最初の二つは、Society of Garden Designers の Grand Award（大賞）など、国際賞をいくつか受賞しています。

十勝千年の森は 4 月下旬から 10 月中旬までの間、毎日、日中にオープンしています。